

オオバボダイジュ

Tilia maximowicziana Shirasawa

シナノキ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内での生育地が限られ、個体数も少ない。(現況:RO)

形態

落葉高木。樹高10~15m。大きなものでは25mにもなると言う。シナノキによく似ているが、葉が大きく径7~18cmもあり、裏面には星状毛が密生して灰白色。側脈基部には淡褐色の軟毛が密生している。本県のは、シナノキとオオバボダイジュとの雑種と考えられているノヅリボダイジュ(*T.Xnoziricola* Hisauchi)と見なすべきか検討が必要である。

国内分布

北海道、本州(中部地方以北)。

県内分布

南加賀区。

生態など

花期は6~7月、樹皮はしなやかで繊維が強いので衣服の材料に利用されたが、シナノキよりは弱い。

生育環境

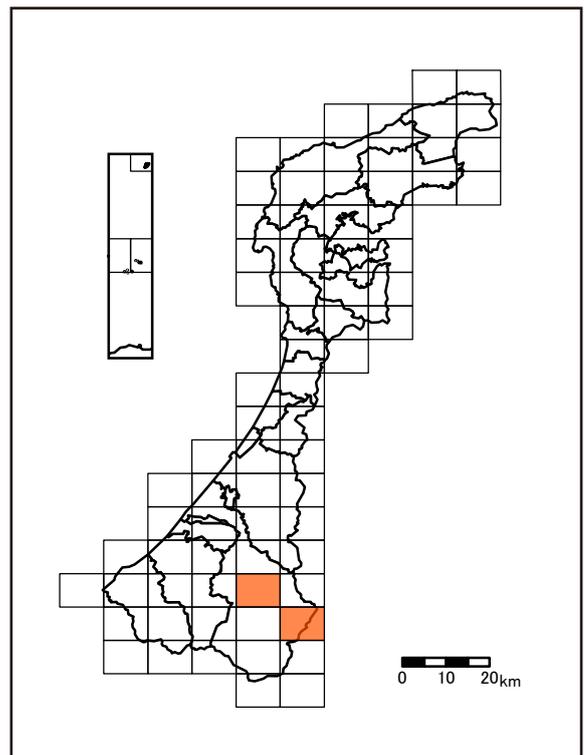
低山帯の沢筋。

危険要因

森林伐採、自然遷移、道路工事、産地局限。



白井伸和・2002年6月5日・白山麓・(果実)林 二良



県内の分布